

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づく令和6年度の実施状況について

概要



横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づき、
交通局の2024（令和6）年度施策の実施状況等について報告します。

目次

1 指標の進捗状況（基本方針6）

1-(1) 指標の進捗状況＜高速鉄道事業＞

- ・ 2023(令和5)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比18.2%減の4.1万トン
- ・ 2024(令和6)年度のエネルギー消費量は、2013年度比12.9%減の1,035TJ
- ・ グリーンラインでは、2023(令和5)年度から、資源循環局ごみ焼却工場で発電した電気の環境価値（非化石証書（再エネ指定なし））を活用し、実質CO2 排出ゼロの電力で運行

＜温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の状況＞

上段：実績、下段：削減率（基準年度比）

主な指標	基準値 (2013年度)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
温室効果ガス排出量[万t-CO2]	5.0	6.0	5.8	4.1 (▲18.2%)	—
エネルギー消費量[TJ]	1,188	1,268	1,254	1,039	1,035 (▲12.9%)

1-(1) 指標の進捗状況＜高速鉄道事業＞

- ・ 2024(令和6)年度は、駅照明等に設置している蛍光灯及び水銀灯のLED化を進め、LED化率は54%
- ・ 駅及び車両基地のうち4施設に太陽光発電設備を導入
- ・ 次世代自動車等を2024（令和6）年度に2台導入し、一般公用車（13台）における割合は15%

＜対策の取組状況＞

主な指標	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
LED等高効率照明の導入	30%	42%	44%	54%
太陽光発電設備の導入	4施設	4施設	4施設	4施設
一般公用車における次世代自動車等導入	0%	0%	0%	15%

※2024年度の次世代自動車等の台数 2台（EV:1台、PHV:0台、FCV:0台、HV:1台）

1-(2) 指標の進捗状況＜自動車事業＞

- ・ 2023(令和5)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比13.2%減の2.9万トン
- ・ 2024(令和6)年度のエネルギー消費量は、2013年度比19.5%減の416TJ
- ・ FCバスをリースで3両導入し運行

＜温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の状況＞

上段：実績、下段：削減率（基準年度比）

主な指標	基準値 (2013年度)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
温室効果ガス排出量[万t-CO ₂]	3.4	2.8	2.9	2.9 (▲13.2%)	—
エネルギー消費量[TJ]	517	424	435	435	416 (▲19.5%)

1-(2) 指標の進捗状況＜自動車事業＞

- ・ 2024(令和6)年度のLED 化率は51%
- ・ 太陽光発電設備の導入はなし
- ・ 次世代自動車等を2024（令和6）年度に4台導入し、一般公用車（29台）における割合は14%

＜対策の取組状況＞

主な指標	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
LED等高効率照明の導入	49%	49%	49%	51%
太陽光発電設備の導入	0施設	0施設	0施設	0施設
一般公用車における次世代自動車等導入	0%	0%	0%	14%

※2024年度の次世代自動車等の台数 4台（EV:0台、PHV:0台、FCV:0台、HV:4台）

1-(3) 職員の取組

- ・ 会議等においてディスプレイやグループウェアを活用し、資料の電子データによる共有に努め、ペーパーレス化を推進
- ・ 全職員を対象とした環境研修の受講や、グリーン購入を推進



プリンターの職員証読取部にキャッチコピーを貼付



無線LANの設置により、フロアのどこでもペーパーレス会議を可能に。